

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

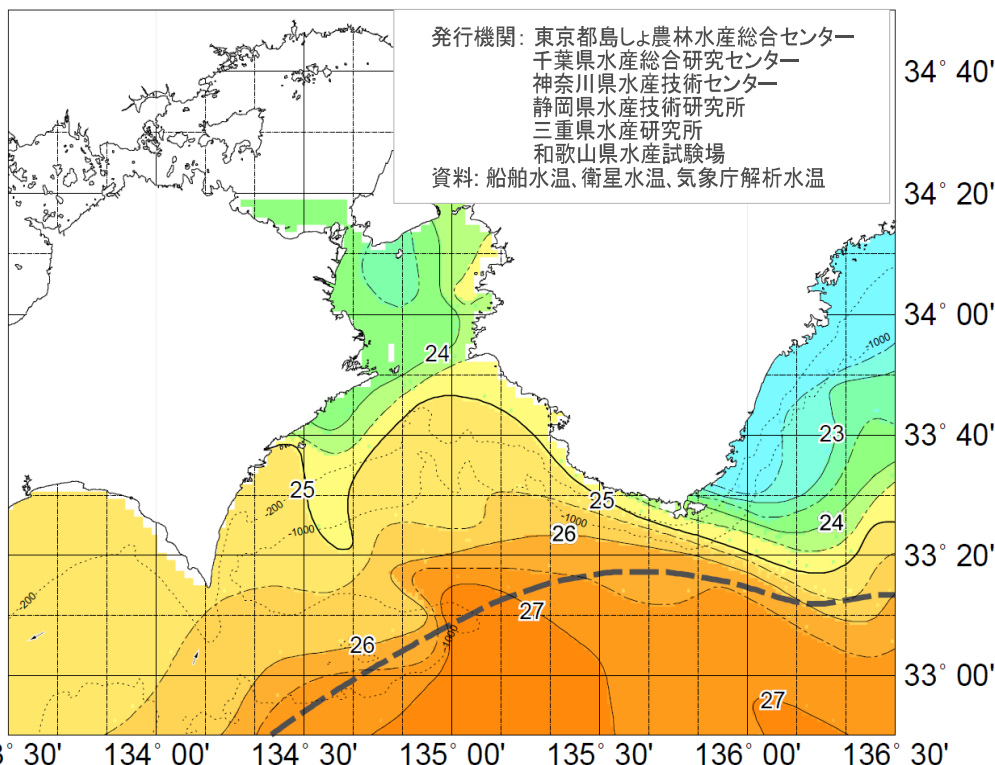
1. 周辺海域の水温

右に10月18日時点の海況図を示した。

黒潮の位置は、室戸岬は先週から引き続き「やや離岸」で推移していたが本日の海況図では「かなり離岸」、潮岬沖は週末をはさんで離岸傾向で本日「やや離岸」となっている。

黒潮本流の表面水温は26℃～27℃台である。

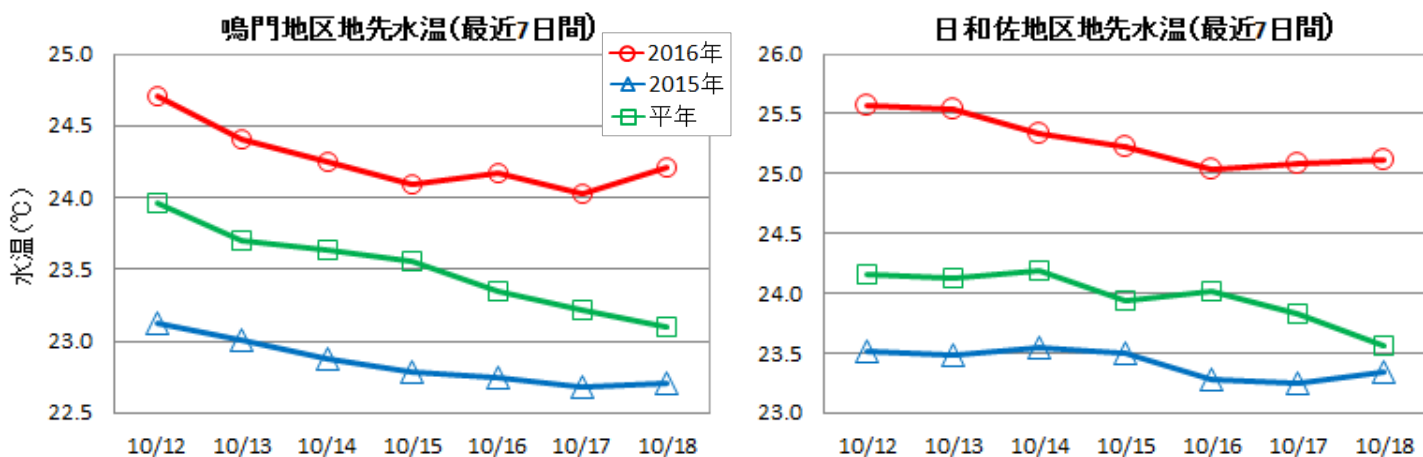
徳島沿岸の水温は、播磨灘、紀伊水道で23～24℃台、海部沿岸で24℃～25℃台となっている。



海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温

最近7日間の地先水温は、鳴門地区では期間通じて「やや高め」の24.0℃～24.7℃、日和佐地区では「やや高め」～「高め」の25.0℃～25.6℃、牟岐地区では期間前半「やや高め」の25.0℃から「平年並み」の24.0℃に下がり、後半で「高め」の25.1℃まで上がった。



※水温の高低 平年並: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上
 ※平年値 鳴門地区: 1981年～2015年の平均値、日和佐地区: 1982年～2015年の平均値
 牟岐地区: 1991年～2015年の平均値

3. 週間予報

10月19日から25日にかけて、黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地区、日和佐地区とも「やや高め」で、鳴門地区は24℃前後、日和佐地区は25℃前後で推移する見込み。

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

全体の水揚げは大きく増えた。

船びき網では、出漁日数と1隻当たりの水揚げがともに大きく増えて、シラスが116.0ト水揚げされた。

延縄では、サワラが8.6ト水揚げされた。表にはないが、タチウオも145キ水揚げされている。

建網では、カワハギが大主体に0.5ト水揚げされた。

小型定置網では、いずれも前週と比べ大きく増えて、マアジが0.9ト、カンパチが0.5ト、マルアジが大主体に0.3ト水揚げされた。

底びき網では、クマエビ(足赤)が大きく増えて1.7ト、タチウオが1.6ト、ぐち類が0.7ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

全体の水揚げは大きく増えた。

釣りでは、タチウオが大きく増えて0.4ト、ブリが大きく増えて0.2ト、カンパチが0.2ト水揚げされた。

延縄では、サワラが大きく増えて0.5ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が大きく増えて1.3ト、マアジが小小主体に前週並みの0.8ト、メアジ、マルアジ、むろあじがそれぞれ0.7ト、0.6ト、0.3ト、アオリイカが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※	
					1日1隻あたり 平均漁獲量			
紀伊水道	船びき網	116	シラス	116,000	1,000		↗↗	
	延縄	112	サワラ	8,629	77		↗	
	建網	51	カワハギ	528	10	大主体	↗	
	小型定置網		19	マアジ	897	47		↗↗
			21	カンパチ	489	23		↗↗
			18	マルアジ	325	18	大主体	↗↗
	底びき網		37	クマエビ	1,690	46		↗↗
			28	タチウオ	1,582	57		↗
			32	ぐち類	697	22		↗
			35	ハモ	575	16	中主体	→
			28	いとより類	384	14		↗
			32	コウイカ	360	11		↗↗
海部沿岸	釣り		28	タチウオ	411	15		↗↗
			14	ブリ	229	16		↗↗
			27	カンパチ	222	8		↗
	延縄	11	サワラ	513	47	大主体	↗↗	
	小型定置網		32	かます類	1,267	40		↗↗
			26	マアジ	810	31	小小主体	→
			26	メアジ	659	25		↗↗
			12	マルアジ	630	52	小小主体	↗
			15	ムロアジ	320	21		↗
			40	アオリイカ	231	6		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗、120%~200%:↗、80%~120%:→、50%~80%:↘、前週比50%未満:↘↘